

二時	三六六	五一八	一五二
三時	三八〇	五九一	二一一
四時	三八三	六一八	二三五
五時	四四一	六〇五	一六四
六時	四三四	六一五	一八一

以上

別記 (一)

身議團 在郷軍人陳情隊 報告

首脳部よりの指令により九月八日在郷軍人陳情隊を編成し上記の活動を実施し予期以上の成績をあげた。

人員 各支部より参加した。在郷軍人六百七十一名。早稲より本部に参集。築地ビル屋上に収容し切れた。ビル裏。空地に移り河野重敏部長の激励と目黒田長より注意あり。九〇如く一班十五名宛を十班に編成した。服装 指令には軍服着用とあり。たゞ其後諸種の状況により平服に参集した。正した。が軍服着用者は約二百名であった。五十分。陳情終了後二時。

- ◆ 陸軍省 目黒田長他十四名。陸軍次官が十一時まで待つてみたく水たが遅くなつたため高級副官半島大佐は面会。大佐は玄閣に出る全員の意見と意見され従業員に好意あり。言明が成った。
- ◆ 海軍省 藤見君他十四名。海軍大臣に付つて秘書官志岐常雄中佐(面会)の當方よりどのを在郷軍人が常局側に志願し従業員に敵対する。と云ふ。たゞなやう取計の足らぬが此中出た。帝國在郷軍人会本部。金子君竹内君他五十名。帝國在郷軍人会本部。金子君竹内君他五十名。